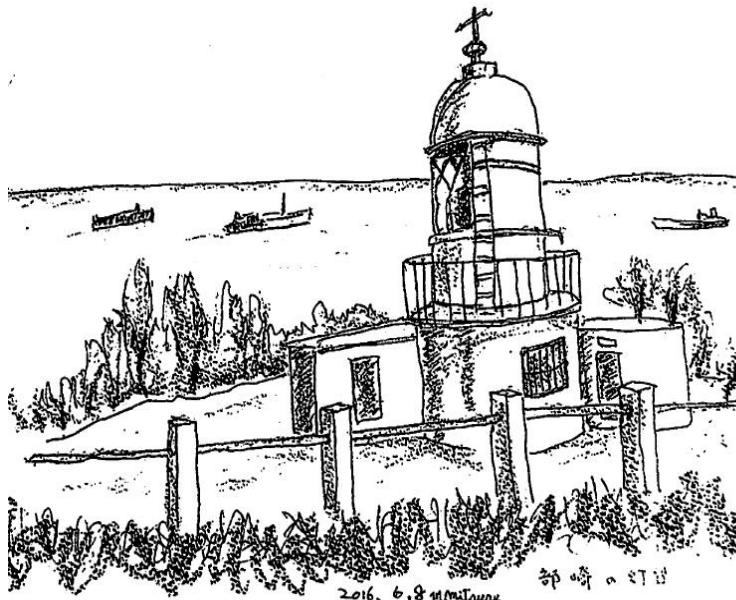


週報2021年3月7日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年3月7日

ピアノ：赤松真佐子姉 オルガン：力丸勝子姉

司会・メッセージ 山崎銀次郎 牧師

開会の祈り(山崎師)

使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌 18「おお御神をほめまつれ」

今までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！

献身のお祈り(小松瑞枝 姉)

賛美 新聖歌 112「カルバリ山の十字架」

賛美コーラス「土の器」

聖書朗読 ルカによる福音書 10章 38-42節

説教題「聞くことは愛すること」

応答の祈り(皆で)

頌栄「主の祈り」

祝福と派遣の祈り(山崎師)

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

ルカによる福音書 10 章 38-42 節

「聞くことは愛すること」

① 導入(あれもこれも)

これは留学時代の私の失敗談です。いくら勉強しても英会話が全然上達しませんでした。そしてたまに勇気を出して、始めた会話も上手く行きませんでした。そして上手く行かない自分が許せなくて自暴自棄に陥りました。でも英会話の醍醐味は「上手にしゃべる事ではなく、英語を使って会話(コミュニケーション)を楽しむことです」。数え切れない失敗を通じて、大切な事を教わりました。すると、相手の顔が見えるようになり、相手の声が聞こえるようになりました。自分の失敗は格好を付けてばかりで、相手の話に耳を傾けていなかったからです。クリスチャンの醍醐味は「あれもこれも、(クリスチャンとして)上手に出来る事ではありません、神様との関係を思いっきり楽しむことです」今日のテーマは「聞くことは愛すること」です。

② 本論（聞くことは愛すること）

「イエスは神の子か？」福音書の著者達はそれぞれの視点でこの質問を読者に投げかけています。そして彼らはこのテーマ（イエスは神の子か？）に対して、それぞれが目に焼き付けた（もしくは聞いた）イエス様の生涯を記述し「イエスは神の子である」と証言しています。ルカはこの事を証言する際に、当時社会からつまはじきにされていた羊飼い、取税人、遊女達を喜んで迎え入れ、愛した姿を書いています。そして更に、ルカの福音書では、イエス様を迎えた人達と迎え入れなかつた人達を対照的に描いています。その迎え入れた代表者に“取税人（ザアカイ）”がいます。そして迎え入れなかつた代表者は律法学者です。前者はイエス様の愛を受け入れ、愛に応える事を選びました。そして後者は常に自分が正しいと言い張り、イエス様を拒みました。

つまり、このマルタとマリアの出来事も“イエス様に対する対照的な態度”が浮き彫りになっています。しかし、ルカ 10 章 38 節によると、マルタはイエス様を喜んで家に迎え入れています。ここで解ってくことは“イエス様は人

の態度ではなく心を見る”という事です。マルタの問題点はイエス様の権威をないがしろにし、マリアを説得するように指示した事です。端的に言うとイエス様の心（愛）を理解するよりも、自分の正当性を優先させたという事です。今日一番お伝えしたいことは、本当の意味でイエス様を心にお迎えしたのは“マリア”だという事です。実際はそのようには書かれていません。しかしイエス様の足もとに座って御言葉を聞き続ける“姿勢”。この態度が全てを物語っています。マリアはイエス様を慕い求め、神の心をもっと理解したく、努めたのです。

結論として、ルカは良い方を選ぶこと＝神の言葉を受け入れる事＝神を愛する事と言っています。マルタとマリアの話は読み手に「あなたはどちらを選びますか？」と投げかけているようです。そこで私達が忘れてはいけないのが、「神がまず私達を愛して下さった」という事です。つまり、イエス様は神の言葉を届けたくて、地上に来て下さったのです。そして主の言葉で最も重要な言葉は“愛”です。イエス様は言葉でも態度でも、そして生き様でもこの愛を“届けて”下さいました。このマルタとマリアの話を通じて教えてることは。聞くことは愛する事です。そしてこれは義務ではありません。神を信じる者が愛を動機として起こす、自主的な働きです。私達の信仰のスタートはいつも“聞く事”からです。主の御言葉に耳を傾けてまいりましょう。

③ 結論（会話を楽しむ）

私達は完璧に出来ない自分が許せない時があります。そこで自分が追い求める完璧を追求します。そして隣人を弱者として定め、相手の話に耳を傾けなくなります。（※参照ルカ 18 章 9-14）イエス様は当時の社会的に弱い立場の人の魂の叫び、憤り、そして絞り出すような一言「罪人の私を憐れんで下さい」という言葉に耳を傾けて、愛と赦しを示しました。

私達はあれも、これもと忙しくなると、時に大切な事を見失ってしまいます。イエス様の愛は永遠で完全で誰に対しても等しく向けられています。私達の信仰生活、良い方をいつも選んでいるでしょうか？それはつまり単に“上手く行く”事を選ぶのではなく、“イエス様との会話を楽しむ”事です。そして“隣人と会話を楽しむ事”です。聖書的な良好な関係性を築く鍵は積極的に聞く事です。主を見上げて、共に前進してまいりましょう。